学校番号	４０５

令和８年度　美術科

教科	美術	科目	絵画	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術２」（日本文教出版）						
副教材等	・油彩、アクリル絵の具セット等の教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・絵画表現の基礎を学ぶ。対象をよく観察し、基礎的な描写力を身につけるためのデッサン、また油彩、水彩など様々なマチエールで画材の扱い方を理解し、その特性を生かした表現方法を学習する。

２　学習の到達目標

・　知識及び技能：
　対象を観察する力を身につけ、基礎的な描写力を高める。画材、用具の使用法を理解し、特性を生かして表現する力を養う。
・　思考力、判断力、表現力等：
　美術の創造活動を通して美的感覚を洗練し、表現と鑑賞の能力を高める。
　表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な構想を練る。
・　学びに向かう力、人間性等：
　固定観念にとらわれず他者の作品や未知のものを理解しようとする柔軟な感性を育てる。
　他者の理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長する心を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・美術作品などの表現方法の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 ・他者への理解、協調性を持って行動し、互いに高め合い成長している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	題材の評価基準（一部）	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
1学期	素描①	【鑑賞】 ガイダンス ・自己紹介ワークシート 【絵画】 ・鉛筆デッサン基礎演習 鉛筆の削り方、 デッサン基礎 （タッチ、濃淡） 静物デッサン	c：美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 a：表現したいことを伝えるための素描の知識・技能を身に付けている。(知識･技術) b：対象をよく観察し、鉛筆の特性を理解し、タッチや線の重ね方を工夫し対象を表現している。(表現や構想) c：集中力を持って対象を観察し、的確に表現しようとする意欲がある。（取り組む態度）	・作品点 （技術的観点） ・ワークシート	・作品点 （創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	油彩①	【絵画】 ・油彩基礎演習 油絵具の扱い方 塗り方のバリエーション ・油彩 「静物画」 F10 キャンバスボードに描く 合評	a：油彩の性質や見え方、使われ方や混色の仕方に関心を持ち、油彩の持ち味を理解する。油彩の特性を生かし表現方法を工夫して丁寧に彩色している。(知識･技術) b：対象をよく観察し陰影や質感を出すための色の重ね方を研究している。(表現や構想) c：互いの表現方法を見つめ、油彩の無限の可能性に気づくとともに自己の表現に生かす。（取り組む態度）	・作品点 （技術的観点） ・ワークシート	・作品点 （創造的観点） ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

2学期	展覧会鑑賞	【鑑賞】 ・高校展鑑賞 鑑賞レポート提出	b:作者の技法や心情を読み取り自己の表現に生かす。(鑑賞) c:高校生の作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。(取り組む態度)		鑑賞ワークシート	鑑賞ワークシート
	油彩②	【絵画】 ・油彩 「人物像」 F10 キャンバスに、自分の身近な人物を主体として人物像を描く 合評	a:油彩の基礎をふまえ人物像の描き、表現方法を工夫して丁寧に彩色している。(知識･技術) b:身近な人物を題材とし、自己の発想から主題を生成している。(表現や構想) c:他者の作品の意図や表現の工夫を感じ取り、他者の作品から表現の工夫など参考にし、ｱｰﾄｽﾀｼﾞｱﾑの発表作品として意欲を持って取り組む。(取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート
	展覧会運営・鑑賞	・アートスタジアム運営・展示 鑑賞レポート提出	c:展覧会の運営を皆と協力しながら実行している。(取り組む態度) 自校の生徒作品を見て多様な表現に関心を持ち、これからの制作に意欲を高めている。(鑑賞)			・展示運営の様子 ・ワークシート
3学期	絵画	【絵画】 ・読書感想画 大阪府青少年読書感想画コンクールに向けて作画。 B3イラストボードにアクリル絵具や透明水彩絵具を使って制作する。	a:丁寧な技術や、技法を工夫して制作している。(知識･技術) b:本の内容を把握し、イメージした世界観を独自の表現方法で発想豊かに表現する。(表現や構想) c:作者の意図や表現の工夫を感じ取り作品のよさの積極的理解に努めている。(取り組む態度)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・ワークシート

	素描②	【絵画】 ・「鉛筆デッサン演習」 2 点モチーフ 精密描写 合評	a:鉛筆の特性を理解し、タッチや線の重ね方を工夫し対象を表現している。形体の特徴をつかみ画面構成を工夫する。(知識･技術) b:対象をよく観察し、その質感や存在感を感じ取ろうとしている。(表現や構想) c:お互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさを認め合っている。(鑑賞)	・作品点 (技術的観点) ・ワークシート	・作品点 (創造的観点) ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・合評の様子 ・ワークシート

※表中の観点について、a:知識・技能、b:思考・判断・表現、c:主体的に学習に取り組む態度